

2024年度生涯学習センター事業について（1）

2023年度から「生涯学習センターあり方見直し方針」及び「生涯学習センター運営見直し実行計画」に基づき、事業・施設運営の見直しを進めています。現在、2024年度の予算編成に向けて調整を行っている時期ですが、現時点での生涯学習センターの2024年度事業案について報告します。

1. 2023年度の取組

①相模原・町田地域教育連携プラットフォームの設置（実行計画取組4-1「学びのネットワークづくりの促進」）

町田市と相模原市に所在する大学等8校、町田市、相模原市、町田商工会議所、相模原商工会議所が参加するプラットフォーム組織。産官学が連携し、市民の学習・教育機会の充実や地域貢献活動などに取り組みます。本枠組を用い、リカレント・リスキル教育の推進を進めています。

②生涯学習ボランティアバンク登録者向け指導スキル向上研修の実施（実行計画取組4-1「学びのネットワークづくりの促進」）

2023年度下半期から、生涯学習ボランティアバンク登録者向けに指導スキル向上研修を実施し、利用者からの信頼性向上に努めます。2024年度以降も定期的に実施を予定しています。

③視聴覚室夜間開放、保育室開放の継続（実行計画取組5-3「学びの場の整備」）

2023年度下半期から新たに始めた視聴覚室の学習スペースとしての夜間開放、土日祝日中の保育室の交流・休憩スペースとしての開放を、施設開館中は継続します。

④講座づくり★まちチャレにおける採用団体の辞退（実行計画取組4-1「地域での学びの拡充」）

2023年4月に実施したまちチャレヒアリング・選考委員会の結果、採用となった6団体のうち、1団体から8月中旬に辞退の届け出がありました。2023年度の講座づくり★まちチャレは当初、8講座の実施を予定していましたが、1団体の辞退により、実施講座数は7講座となります。

2. 2024年度予定（全般的な事項）

（1）施設の大規模改修

○2023年度改修計画設計中

- 空調設備、照明設備、床・壁面等の改修
- 下半期または第4四半期から2025年度にかけて、施設改修のため閉館を想定（議会承認事項）
- 休館中は仮設事務所を別に設置予定

（2）新型コロナワクチン予防接種の終了

- 施設運用の段階的平常時回帰（2023年度下半期～）
団体活動コーナーの再開、館内における飲食、ミニギャラリー再開など

（3）2024年度予算編成方針（抜粋）

- 日本経済の状況及び国の当面の経済財政運営

コロナ禍から経済社会活動の正常化が進み、緩やかに回復している一方で、世界的な物価高騰、急速に進行する少子化、気候変動や新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた持続可能な経済社会の構築など、我々の意識の変化や社会変革を求める構造的な課題に直面しているとしている。こうした「時代の転換点」とも言える構造的な課題の克服に向け、官民連携による投資の拡大、デジタルトランスフォーメーション（DX）等の加速、少子化対策・こども政策の抜本強化などに取り組むことで「成長と分配の好循環」を実現する。

- 町田市の財政状況と今後の見込み

経済活動の回復や物価高騰等の影響に伴い、歳入は、市税収入が堅調に推移しているものの、それを上回る歳出の増加が見込まれる。中でも社会保障費などの扶助費の増加は顕著であり、デジタル化に向けた情報システム関連経費の増大、老朽化する公共施設の維持保全や再編など、歳出の増加は2024年度以降においても避けられない状況である。引き続き大変厳しい財政状況にあり、財源不足の解消に向けて積極的に取り組む必要がある。

3. 2024年度事業予定

別表のとおり